

【事業概要】

- 本学と鹿屋市が創設した地域密着スポーツブランド「Blue Winds」のロゴタイプの浸透
- 「する」「みる」「ささえる」スポーツを通して、大学スポーツを通じた地域振興を図る。

【関連する第3期中期目標】

- ①【17】 地域への多様な学習機会の提供等により、生涯学習の普及や地域の活性化に貢献する。
- ②【13】 学生自身が、心身ともに健全で安全な学生生活を送ることができる良好な修学環境を整備する。

【主な取組】

①かのやエンジョイスports（市民参加型運動会）オンラインによる開催【継続】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、Web会議システムを用いて、11月13日（土）にオンラインで開催し、鹿児島県内外から4チーム20名が参加した。
今回は、「自宅からオンラインで参加できる新しい運動会」というコンセプトの下、準備運動にExseedを実施、大学や鹿屋市の理解が深まる種目や正しいトレーニングが分かる種目を行う等、コロナ禍においても参加者の交流が図られ、スポーツを楽しむ機会を提供した。

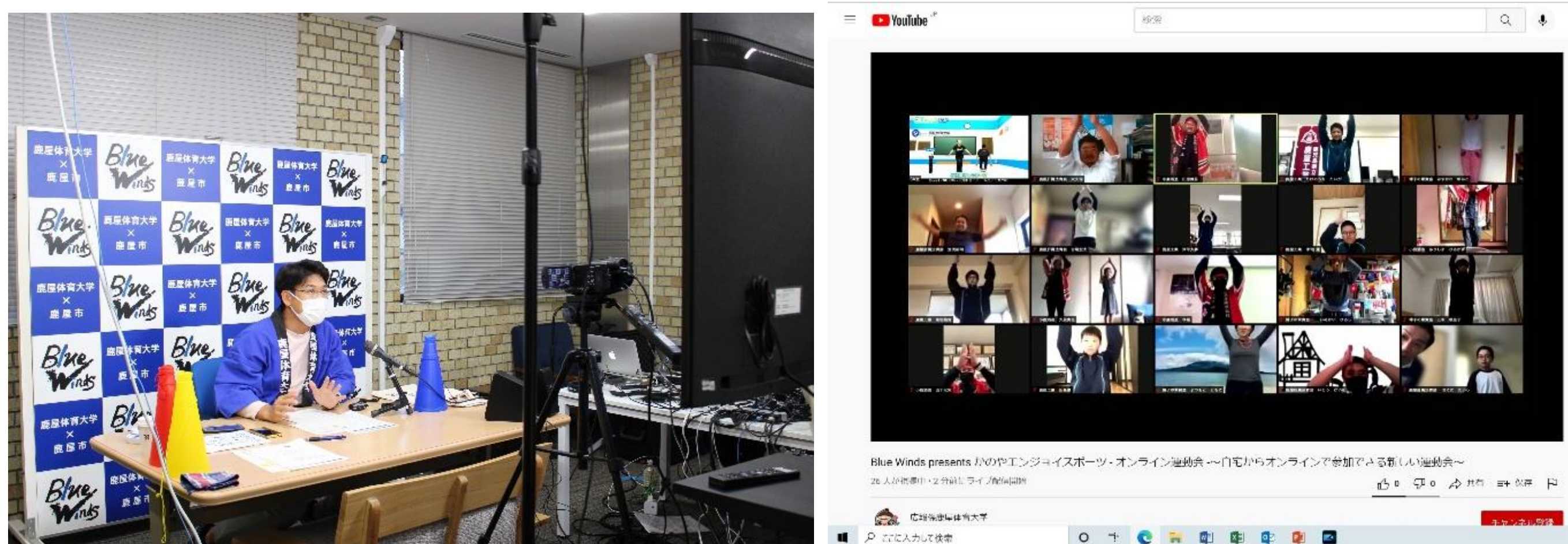


写真1 実施本部（左）、及びライブ配信の様子（右）

③みんなのタイムトライアルの開催【継続】

市民ランナーに、全天候トラックでのタイムトライアルの機会を提供するとともに、本学の資源を活かしてスポーツイベントを開催することによる地域におけるスポーツプロモーションを図るイベントとして、本学陸上競技場において、12月12日（日）に開催した。
開会式では準備運動として、ダンス部協力のもと、Exseedを実施した。実施種目のうち、1000m・3000m・5000mについては、ペースメーカーとして本学陸上競技部の学生が参加者の自己記録更新のサポートをする等、市民と学生の交流・親睦を図る場を設けることができた。「みんなのタイムトライアル」の取組は、鹿屋市以外にも、大崎町や日置市で行われる等、鹿児島県内でも広がっている。

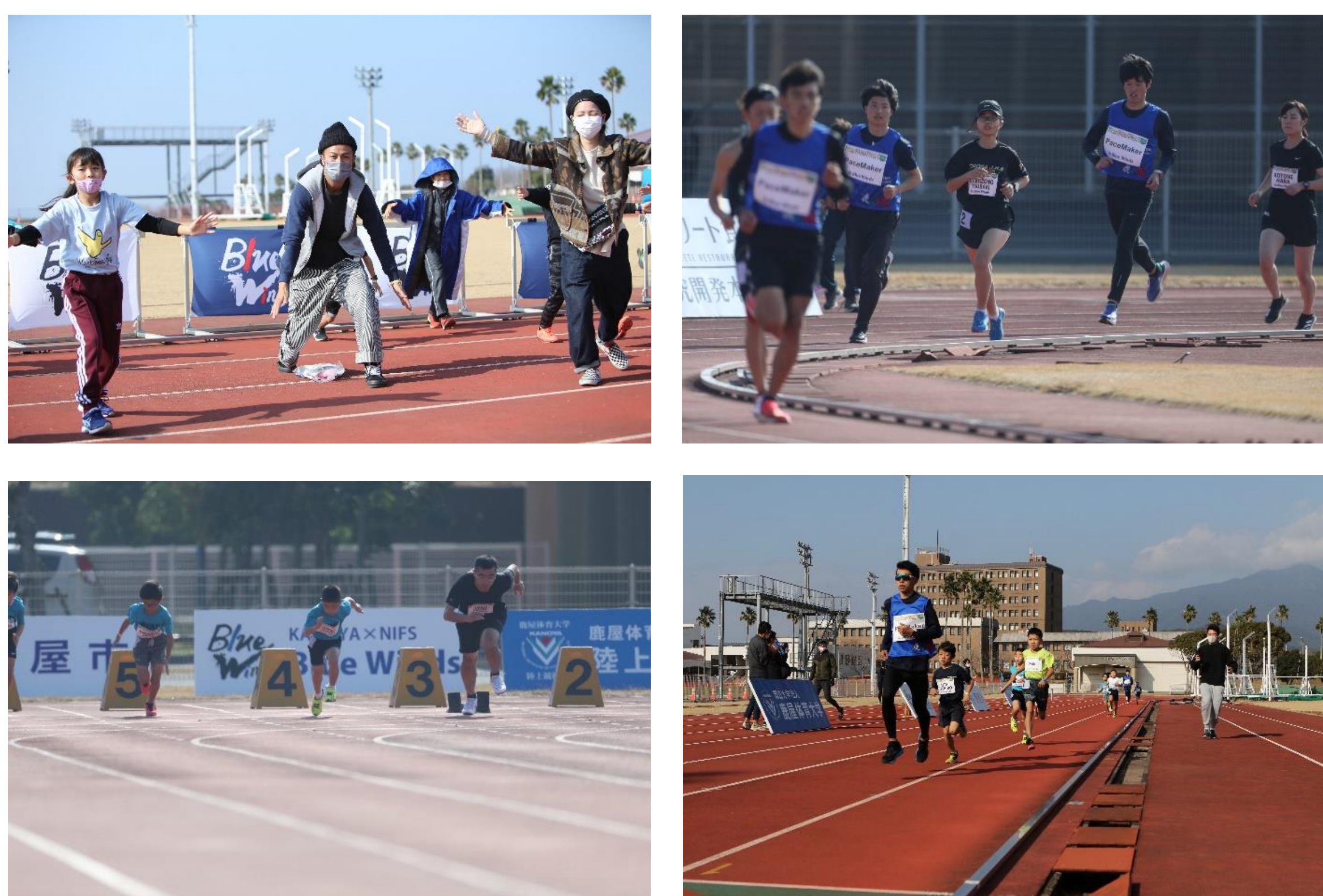


写真3 準備運動 Exseedの様子（左上）、レースの様子（右上、下）

【事業実績の概要】

- Blue Windsイベントをオンライン化もしくは新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で実施する等、新型コロナウイルス禍においても、スポーツを「する」「みる」「ささえる」の機会を創出
- 本学課外活動団体の活動情報をLINE公式アカウントで発信することで、大学スポーツ観戦の機運醸成を図った。
- UNIVAS AWARDS 2021-22のスポーツ統括部局/SA賞において、新型コロナウイルス禍における地方自治体と大学による「Blue Winds事業」の実施が評価され、優秀賞を受賞した。

②カレッジスポーツデイのライブ配信による開催【継続】

学内で開催された公式戦を九州大学バレーボール連盟のYouTube公式チャンネルからライブ配信することで、新型コロナウイルス禍においても、大学スポーツの試合を観戦する機会を多くの人に提供した。
本イベントにおいて、5月5日（水・祝）の本学と福岡大学との試合をピックアップし、実況解説付きで配信することで、視聴者を飽きさせないよう工夫した。ライブ配信には、最大219名の同時視聴があった。



写真2 実施本部（左）、及びライブ配信の様子（右）

④LINEを活用したコミュニティの確立【継続】

Blue Windsイベントへ参加された方に、LINE公式アカウントへの登録を促しており、現在987名が友だち登録している。
（登録者のうち、7割は鹿児島県内在住の方）
この登録者を対象に、Blue Windsイベントや広報係から情報提供いただいた課外活動団体の試合日程や結果を配信し、大学スポーツ観戦の機運醸成を図った。



【今後の事業の展望】

コロナ禍においても、Blue Winds事業（かのやエンジョイスports、カレッジスポーツデイ）等を無事開催し、そのノウハウを蓄積することができた。
来年度も引き続き、大学スポーツを通じた地域振興を図り、より多くの地域住民が参加できるイベントとして、地域でのスポーツプロモーションを図っていきたい。